

GUARDIANWALL V7.4.00 for Linux リリースノート

GUARDIANWALL V7.3.00 for Linux から GUARDIANWALL V7.4.00 for Linux において、以下の機能追加および修正しました。

1. 機能追加

GUARDIANWALL V7.3.00 から GUARDIANWALL V7.4.00 へのバージョンアップにおいて、以下の機能を追加／改善しました。

(1) 添付ファイル自動暗号化機能の追加

誤送信対策への機能として、内部から送信されるメールに付加された添付ファイルを、1つのパスワード付き ZIP 圧縮ファイルにまとめて送出することが可能になりました。

(2) メール一時保留機能の追加

誤送信対策への機能として、検査・配送ルールにマッチしたメールを一定時間保留することが可能になりました。一時保留されたメールに対し、メール送信者や管理者により送出／削除の操作、一定時間経過後に自動で送出するなどの運用が可能となります。

(3) 未処理保留メール通知機能の追加

一定時間を越えて保留されているメールが存在する場合、管理者に対して再度通知を行うことが可能になりました。

(4) コールドスタンバイ操作機能の追加

検査サーバーのアクティブ／スタンバイ構成において、管理画面上からアクティブ／スタンバイを切り替えることが可能になりました。

(5) 通知メールの改善

通知メールの件名にオリジナルメールの件名を挿入することが可能になりました。

(6) テープからのリストア形式の改善

テープデバイスからのリストア形式を、ディスクデバイスからのリストア形式と同様にデータを追記する形式に改善しました。リストア領域に以前のリストアデータが存在する場合、リストア実行時には以前のデータを消去せず、そのままデータを追記することが可能となります。

(7) 適用パッチ番号表示の改善

該当パッケージに適用済みのパッチ番号を表示するように、管理画面の表示情報を改善しました。

(8) 通知メールに対するテストメール改善

通知メールのテストメール内容を改善し、管理サーバー、検査サーバーのどちらのサーバーから送信されたテストメールか判別可能となるように改善しました。

(9) 複数セグメントでの運用機能改善

複数のセグメントを利用した場合でも、管理画面から検査サーバーを登録し、通信を行うことが可能となるよう改善しました。

(10) データ保存領域の NFS 対応

管理サーバーで設定する各種データ保存ディレクトリに NFS マウントしたディレクトリを設定することが可能になりました。対応する NFS バージョンは Version 3、Version 4 となります。NFS マウントディレクトリが設定可能となったデータ保存ディレクトリは、以下のとおりです。

- ・メールログ保存ディレクトリ
- ・メールアーカイブ保存ディレクトリ
- ・バックアップ用ディレクトリ
- ・リストア用ディレクトリ
- ・監査データ保存ディレクトリ

2. 修正

GUARDIANWALL V7.3.00 (GUARDIANSUITE V4.3.00) までに含まれる以下の不具合を修正しました。

(1) 特定の添付ファイルに対する個人情報検査の実行メモリが大量消費される不具合

大きなサイズのファイルが添付されているメールに対して個人情報検査を実施すると 1 プロセスが使用できる最大メモリ量(=2GB)に達してしまい、GUARDIANWALL のプロセスが正常に移動できなくなる不具合を修正しました。

(2) MS Office 2007 ファイルのパスワード検査ができない不具合

Microsoft のセキュリティパッチが適用された環境で作成された Office 2007 のアプリケーションファイル(Excel、Word、PowerPoint)に対して、GUARDIANWALL でのパスワードロック有無の検査ができず、「パスワードなし」と誤判定される不具合を修正しました。

対象となる Microsoft のセキュリティパッチは、以下のとおりです。

- ・Office 2007 Service Pack 2
- ・パッチ番号 KB969682 のパッチ(Excel 2007 用)
- ・パッチ番号 KB973593 のパッチ(Excel 2007 用)
- ・パッチ番号 KB969604 のパッチ(Word 2007 用)
- ・パッチ番号 KB957789 のパッチ(PowerPoint 2007 用)

(3) 件名が空白のメールを受信できない不具合

GUARDIANWALL の検査・配送ルールにおいて、メールの件名を対象にキーワード検査を行うルールが設定されている場合、件名が空のメールを受信できない不具合を修正しました。

(4) グループ登録件数が大量にある場合にバックアップが失敗する不具合

GUARDIANWALL におけるグループ管理機能へのグループ登録件数が大量(約 5000 グループ以上)の場合、管理画面からのバックアップやサポートスクリプト(rescue.php)を使用したバックアップが失敗する不具合を修正しました。

- (5) アクティブ／スタンバイ機にて同一の IP アドレスを使用した場合に収集済みデータを上書きする不具合

アクティブ機とスタンバイ機で同一の IP アドレスを設定した場合、ログ収集時にアーカイブデータ、ログデータの上書きが発生するという不具合を修正しました。

- (6) 内部ドメインの文字数により GUARDIANWALL のプロセスが停止する不具合

GUARDIANWALL の設定ファイルを CUI 画面から直接編集し、内部ドメインの項目に対して上限文字数(1000 文字)を超える設定を行った場合、GUARDIANWALL のプロセスが停止するという不具合を修正しました。

- (7) MIME パートが正しく解析できない不具合

MIME の Content-Disposition ヘッダーに対し、filename が複数行に分割されて定義されている場合、分割行数が多いと MIME パートを正しく解析できないという不具合を修正しました。

- (8) 保留メールの配送履歴・操作履歴の表示が正しく表示されない不具合

保留メールに対する操作を保留された当日に行った場合、該当メールの配送履歴・操作履歴が文字化けや重複して表示されるなどの不具合を修正しました。

- (9) 大量保留メールの一括処理ができない不具合

保留メールの管理において「削除 BOX」に大量のメールがある状態で一括処理を行った場合、検査サーバーとの通信がエラーとなる不具合を修正しました。

- (10) テープのリストアがエラーとなる不具合

テープにバックアップされている末端のデータが不完全である場合、そのテープからのすべてのリストアがエラーとなる不具合を修正しました。本修正により、正常に書き込まれているバックアップデータのリストアが可能となります。

- (11) 保存メール検索が失敗する不具合

保存メールの検索において、サイズの条件に小数点(1.5M など)を入力し検索すると、画面上に「通信エラーが発生しました」というエラーメッセージが表示される不具合を修正しました。

(12) セッションタイムアウト時の画面が正しく表示されない不具合

セッションタイムアウトの状態では画面操作を行うと、画面が正しく表示されない不具合を修正しました。

(13) 検査・配送ルールの一覧表示がエラーとなる不具合

大量に設定された検査・配送ルールを表示しようとした場合、「サーバーエラー500」と表示されルール一覧が表示されない不具合を修正しました。

(14) 検査サーバーを FQDN 指定にしていると保留メールが閲覧できない不具合

検査サーバーのホスト名が FQDN 指定されている場合、保留メール通知文に記載されている MSGID で保留メールが閲覧できないという不具合を修正しました。

(15) 内部メール取得モジュールを使用した環境で一括ダウンロードができない不具合

内部メール取得モジュール(GUARDIANWALL 本体には含まれていません)をお使いの環境において、内部メール取得モジュールでアーカイブしたメールと GUARDIANWALL でアーカイブしたメールが混在している場合、メールアーカイブの一括ダウンロードができないという不具合を修正しました。

3. システム要件

GUARDIANWALL V7.4.00 for Linux を利用するには、以下の要件を満たしたハードウェア／ソフトウェアが必要となります。

【サーバ条件】

OS	RedHat Enterprise Linux AS/ES Version 4 RedHat Enterprise Linux Version 5 以下のパッケージがインストールされている必要があります。 ed、tcl、compat-db、compat-libstdc++、mt-st
CPU	上記 OS が動作する IA-32 (Pentium 以上)、Intel64 プロセッサ (Itanium2 は非対応)
ディスク容量	管理サーバー /opt 最低:1GB、推奨:※ /var 最低:100MB、推奨:1GB 検査サーバー /opt 最低:1GB、推奨:※ /var 最低:100MB、推奨:500MB 管理サーバー＋検査サーバー /opt 最低:1GB、推奨:※ /var 最低:100MB、推奨:500MB ※システム稼動後は各種データが出力／保管されますので、運用を考慮した空き容量を用意してください。

【管理用クライアント条件】

OS	Windows XP SP3、Windows Vista SP1/SP2、Windows 7
ウェブブラウザ	Internet Explorer 6、7、8
その他条件	ウェブブラウザの JavaScript が有効であること

以上